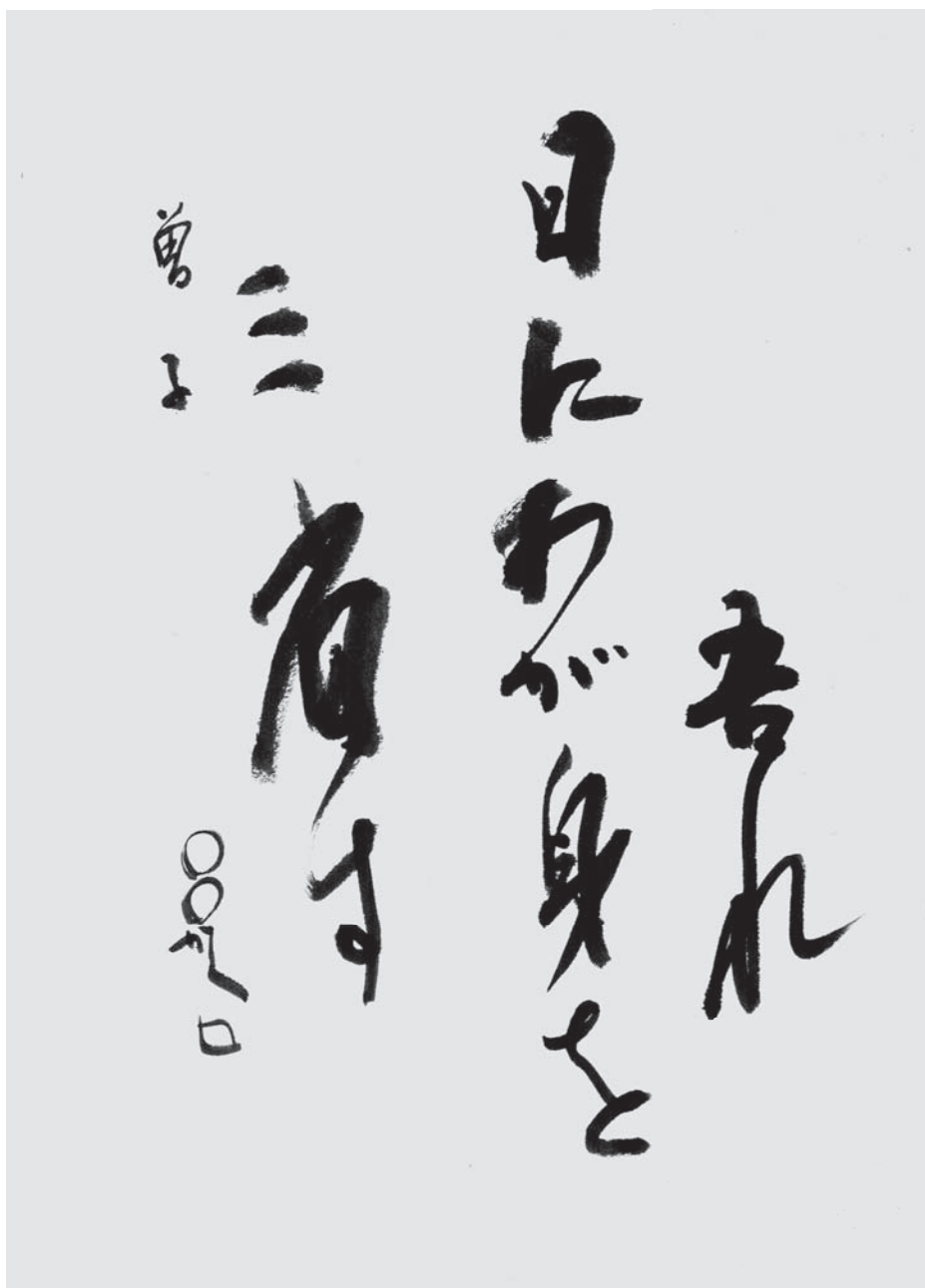


調和体を書く(7)

締切り 七月二十五日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の「新和様」のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいりましょう。

〔読み〕

吾れ日にわが身を

三省す

曾子

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※「○○かく」は、ご自分の名をお書き下さい。印のない方は、上掲手本のように赤ペンで書き入れて下さい。

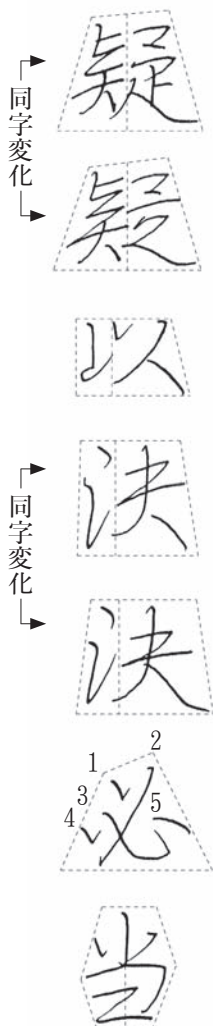
一般部規定課題

締切り 7月25日(必着)

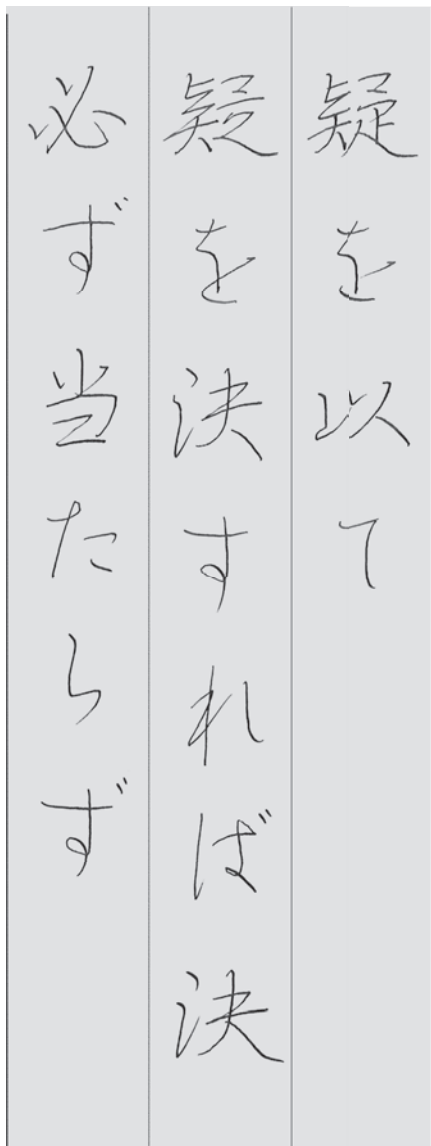
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。
◎今月は行書。線のやわらかな味と、線と線のつながりをよくして書く。また「疑決」の同字を少々変化させました。

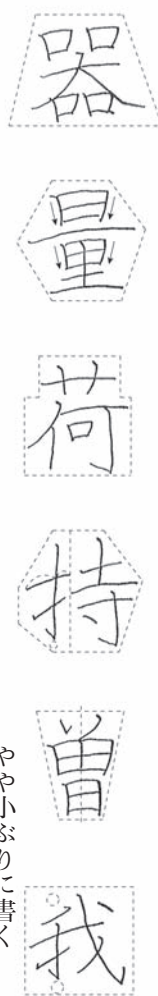


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



やや小ぶりに書く



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

▼教範・書範＝行書
▼師範＝楷書

◆8月課題予告（行草または草書）
友と知己とは
幸福に到達する為の
旅行免状である

★疑を以て…（書体＝行書）
荀子（前二九八～前三八八以後）
中国・戦国時代の思想家
あやふやな根拠に基づき判断を下せば、必ず見当はずれな結論に導かれると言っています。正しい決断を下すためには、まず第一に十分な情報がなければなりません。荀子はさらに「当事者に確固たる定見が必要である」ともつけ加えています。

◆8月課題予告（行書）
疑行は名なく
疑事は功なし
史記

★器量に…（書体＝楷書）
作者未詳（鎌倉時代末期頃？）
「曾我物語」より
自分の力量に合ったことをしなさい。力量以上のことをすれば結局失敗して周囲に迷惑がかかるという戒め。自分自身の器量を推し量ることは難しいと思います。努力をすれば得ることができるもの、努力しても得られないものを知ることが大切でしょう。

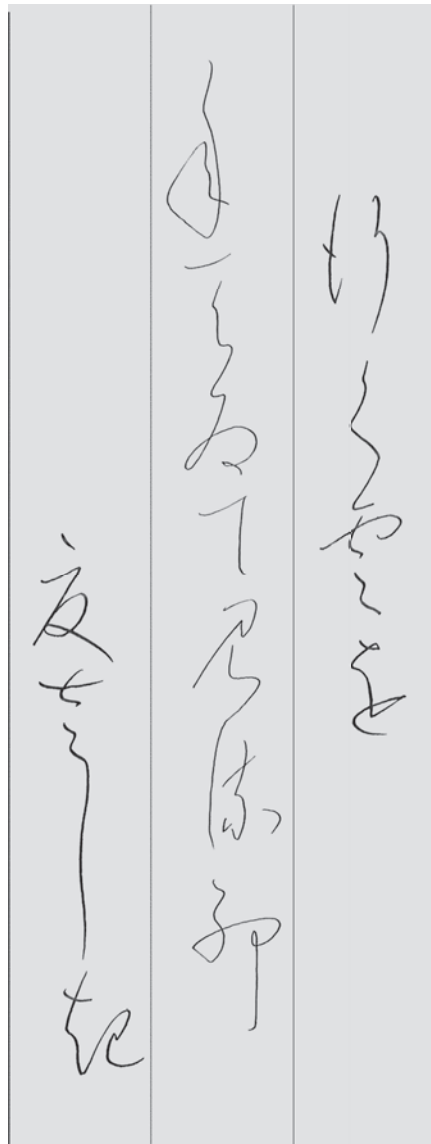
一般部かな課題

締切り 7月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

行く雲をねてゐてみるや夏座敷



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

行く雲をねてゐてみるや夏座敷



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

行く雲をねてゐてみるや夏座敷

(志太野坡)

【句解】寝ながらにして行く夏の雲の流れを互いに目で追っている、主客うちくつろいだ夏座敷よ。

【鑑賞】長い夏の日の夕方、庭の照り返しもようやく和らいだ座敷に終日の会話に飽いた主客がごろりと横になって雲の流れを見やっている。心ゆくまで語り尽くした後の倦怠感が互いを黙しがちにしているが、そこにかえって主客の心おきないくつろぎが感じ取れ、淡い情感のある佳作になっている。

【古筆参考】

天て 流る 耶や 奈な 佐さ
て へ ま ま ま ま
ま ま ま ま ま
ま ま ま ま ま
ま ま ま ま ま

【解説】「て」の横画の終わりは、軽く筆圧を抜いて方向を変えると硬さがない。【ま】は、二画目を右上がりを書いたら、三画目は左下斜めに書くバランスが良い。

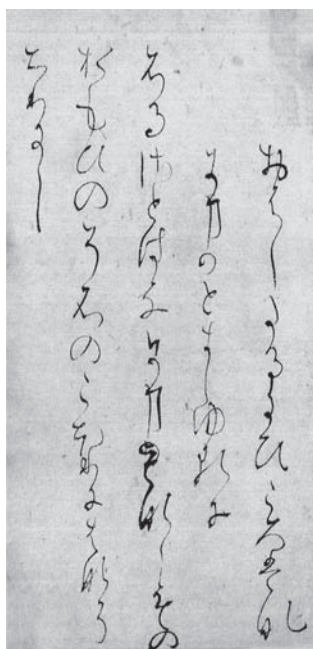
◆8月課題予告

浮草や今朝はあちらの岸に咲く

(中川乙由)

〔古筆参考〕

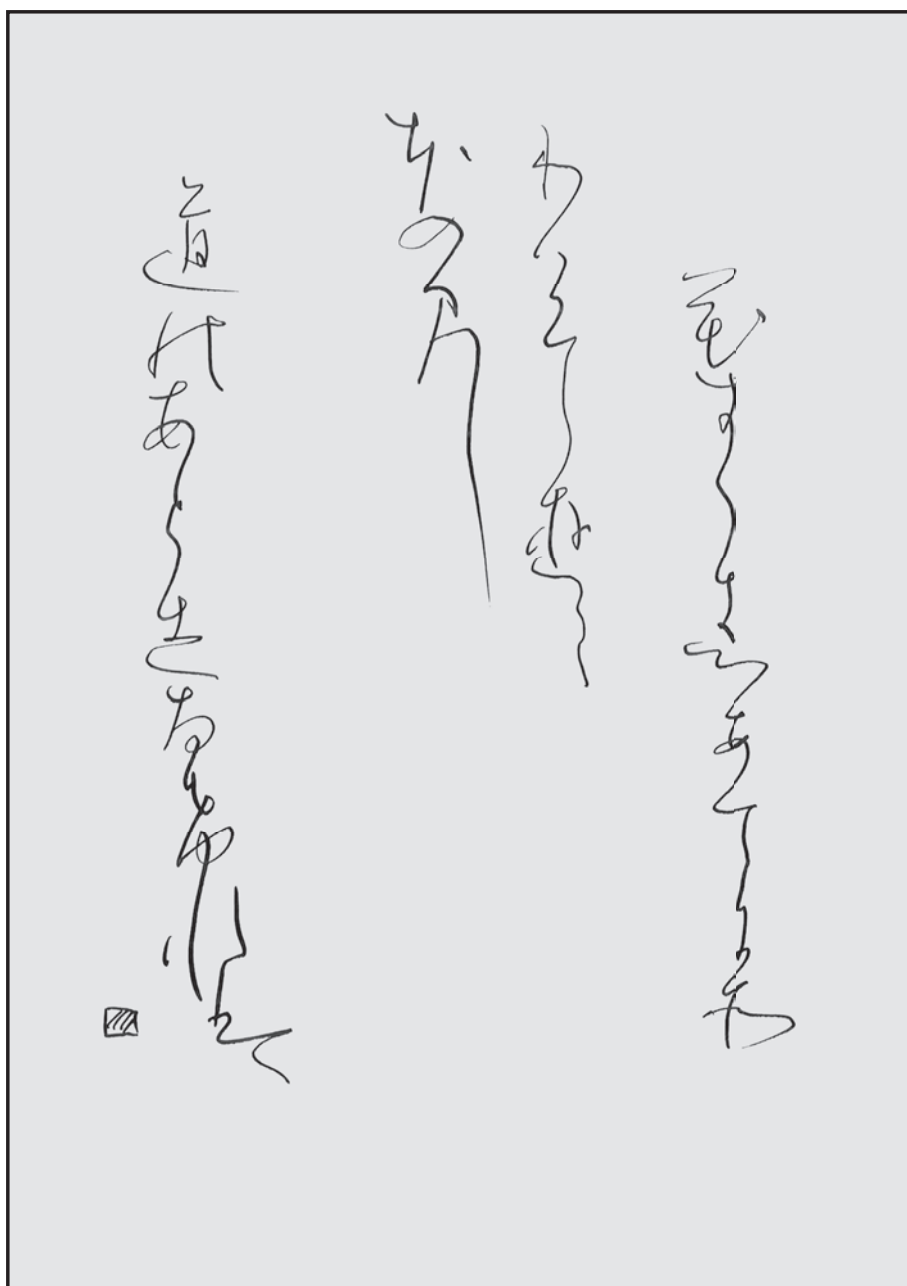
いち しょう せつ しょうしゅう
一条 摂政 集



おはしたるに、ひごろはな
に事か、ときこゆるに
ふるさとにはなにもなしもの
おもひのそふのこほりにはなぞ
ちりにし

締切り 七月二十五日（必着）

築瀬舟香書



花薄心あてにぞ分けてゆく
ほの見し道の跡しなれば

〔歌意〕花薄を分けながら当て推量に進んでゆくよ。かつて通ったことがあつてかすかに覚えている道も、生い茂った薄のために跡がわからないので。

〔出典〕山家集（新潮日本古典集成）

〔解説〕



・イとロ、①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、それぞれ呼応。

・○余白を大切に。

・●密の部分、行の中、密の動き大切。

・の指向性、①点の位置大切。

◆8月課題予告

たぐひなき花の姿ををみなへし
池の鏡にうつしてぞ見る

締切り 7月25 日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな暑中見舞い状をお待ちしています。

暑中お見舞い申し上げます
猛暑の折 お変わりございませんか。この暑さにもめげないで畑の野菜は元気です。冷やしたトマトやスイカ、手作りのゴボウ茶も美味しいです。夏休みは山里の我家で過ごしては。

暑中お見舞い申し上げます
猛暑の折 お変わりございませんか。
この暑さにもめげないで畑の野菜は
元気です。冷やしたトマトやスイカ、
手作りのゴボウ茶も美味しいです。
夏休みは山里の我家で過ごしては。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

夏の土用丑の日にウナギを食べる
と夏負けしないという慣習がある。

大阪府吹田市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 7月25日(必着)



準初段から師範まで

新入から1級まで (楷書)

奥村暢之 臨

須田一葉 書

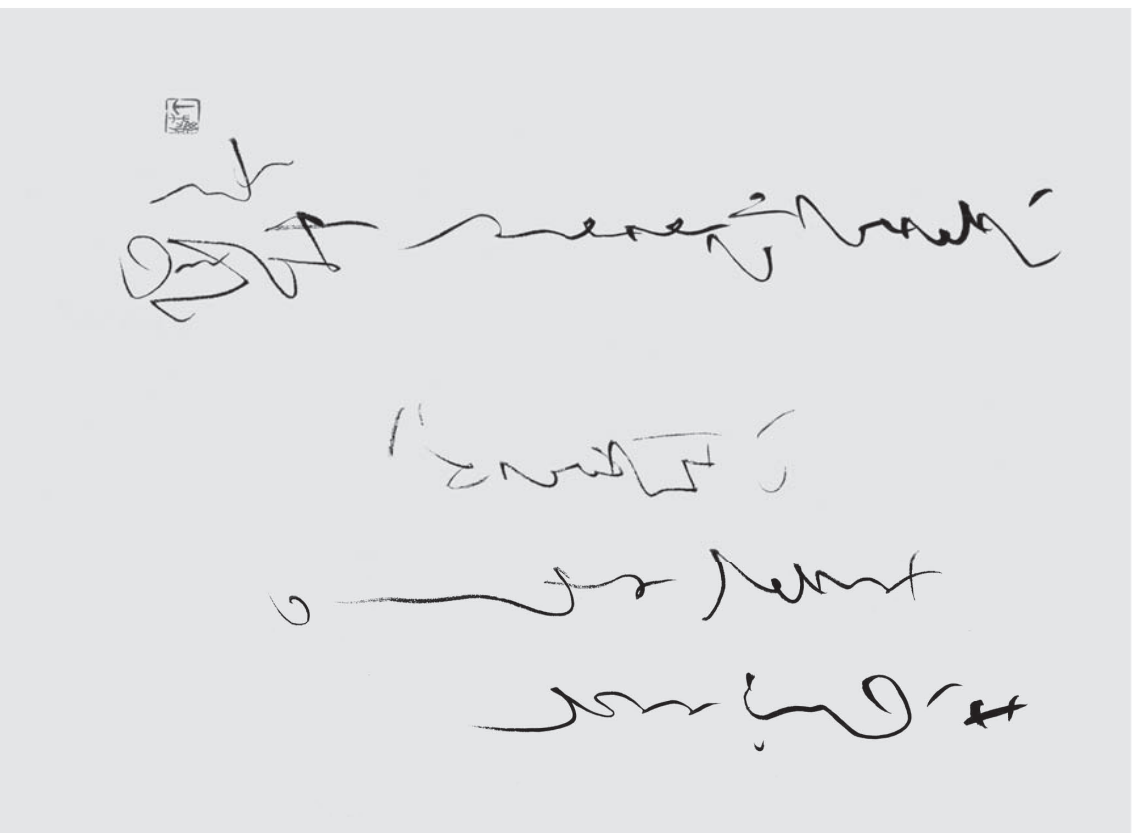
〔出典〕 孔子廟堂碑 (626～633) 〔筆者〕 虞世南 (558～638)
 〔読み〕 (空) 山尽漠、命を關 (庭に) 歸せば、

〔読み〕 清雲炎暉を却く
 〔大意〕 涼しげな雲が夏の暑い日ざしをやわらげてくれる。

山 盡 漠 歸 命 關

一般部毛筆かな課題

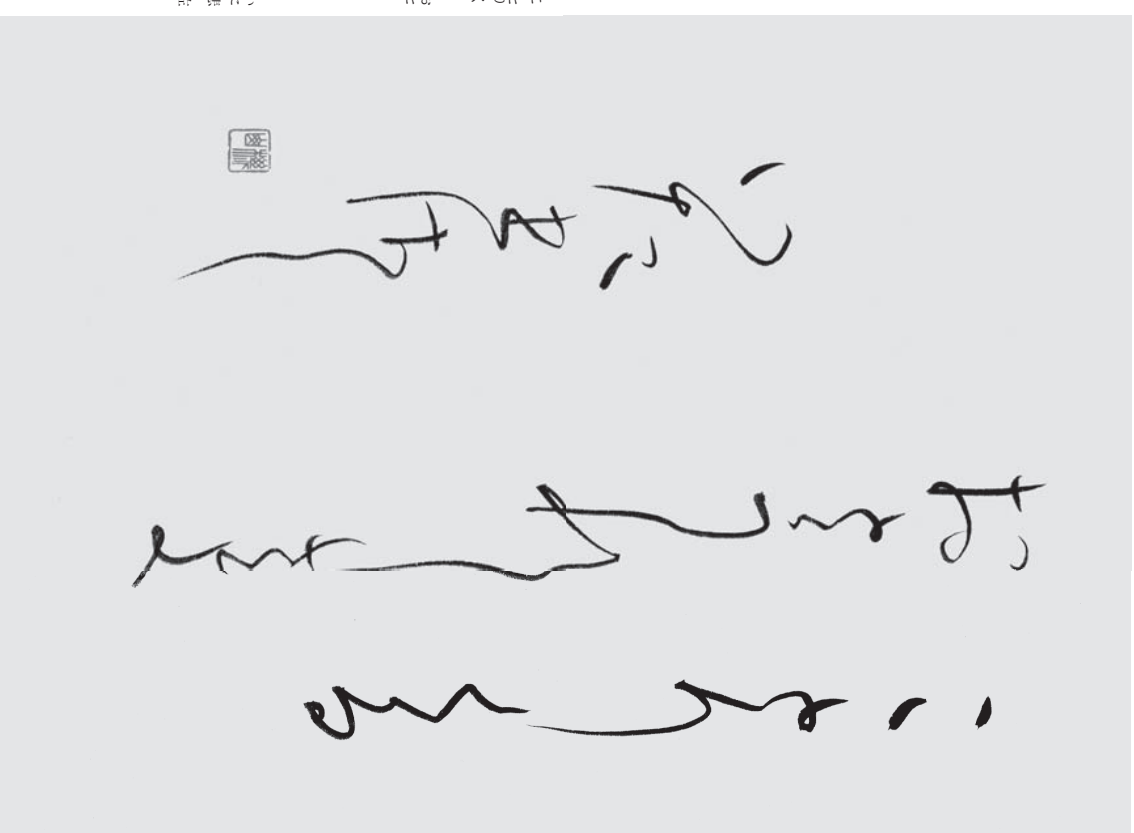
締切り 7月25日(必着)



昨日きのふこそ早苗いさなとりしかい利可
つにのまに健農万二
稲葉いさなそよぎて秋風のふく

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



小鳥ことり来る音おとうれしと板びさしいた 悲 佐

新入から1級まで

浅井あさい機山きざん先生書

〔出典〕 作者未詳

〔歌意〕 つい昨日、早苗を取って植えたばかりなのに、いつのまに稲葉

がそよいで、秋風の吹くようになったのか。

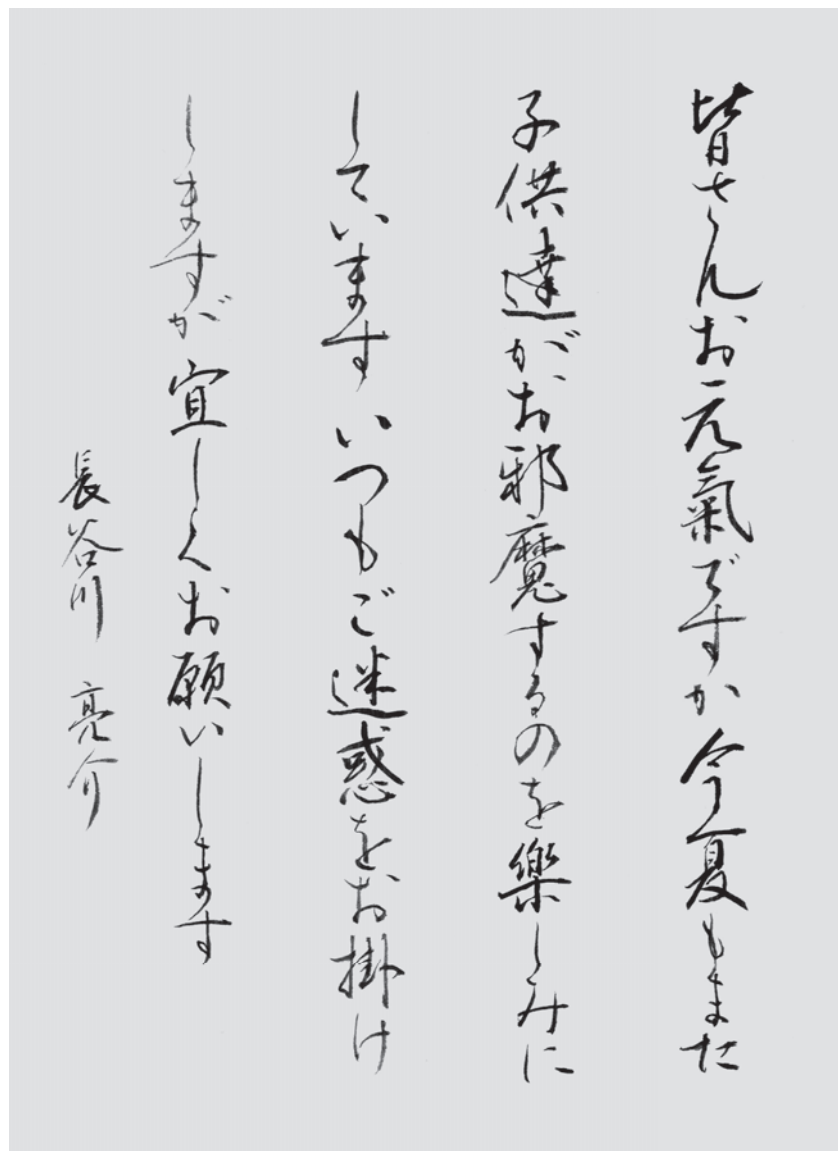
〔出典〕 与謝蕪村よ せ い ぶん

〔句意〕 板びさしをふむ可憐な音がしきりにする。今年も小鳥達が渡っ

て来たのだ。うれしいことだ、の意。

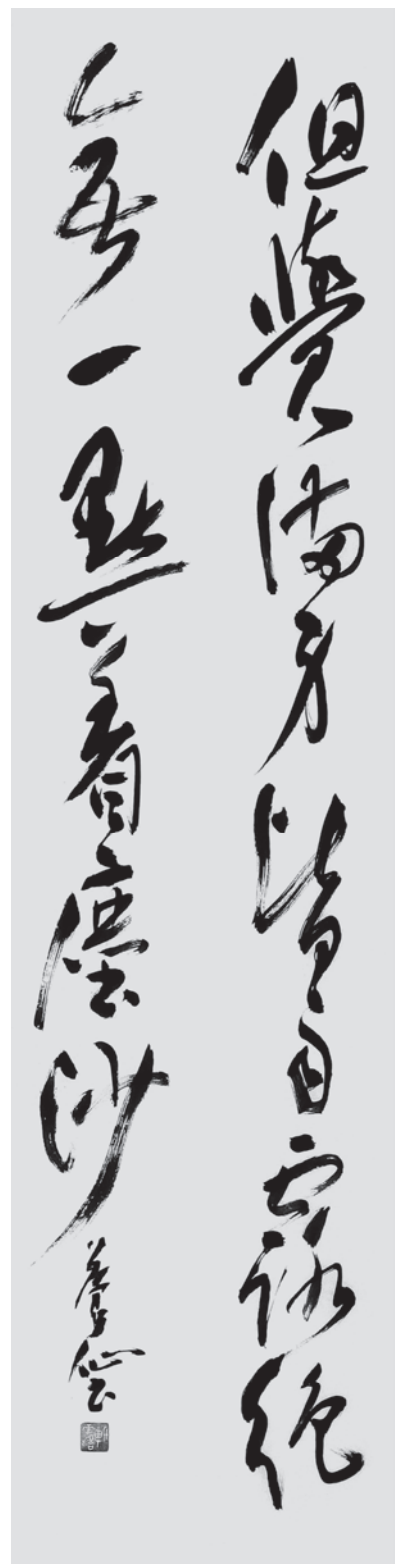
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

田 玲 書



締切り 七月二十五日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

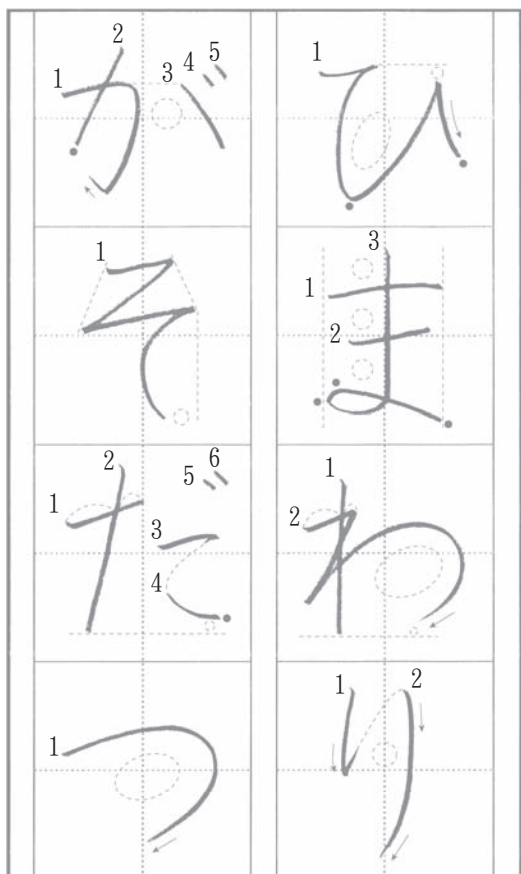
・印で墨つぎしました。

皆さんお元気ですか 今夏もまた
子供達がお邪魔するのを楽しみに
しています いつもご迷惑をお掛け
しますが宜しくお願いします
(ご自分の氏名)

〔条幅解説〕筆が立つ…本物の書道人。ズルズル
引きずりながら書くのは誰にでも出来る。
そこで絶えず筆を立て直しながら書く…。そ
して強く深みのある美しい線を追及…。
優れた書家の書きぶりを学び、線の追及行者
でありたいと思っています。

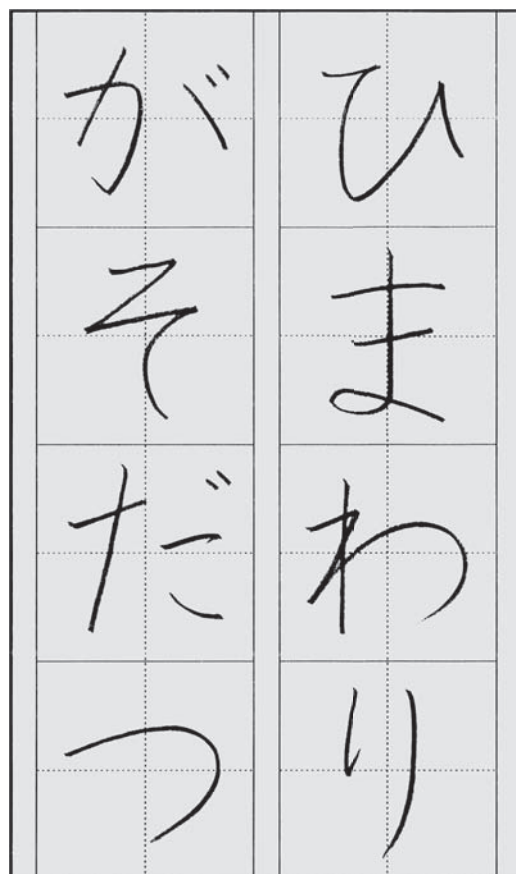
但 覚 満 身 皆 雨 露
絶 無 一 點 着 塵 沙
〔大意〕身には多大な
雨露の恩をこうむり、
衣払っては世上の俗塵
は微塵もない。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



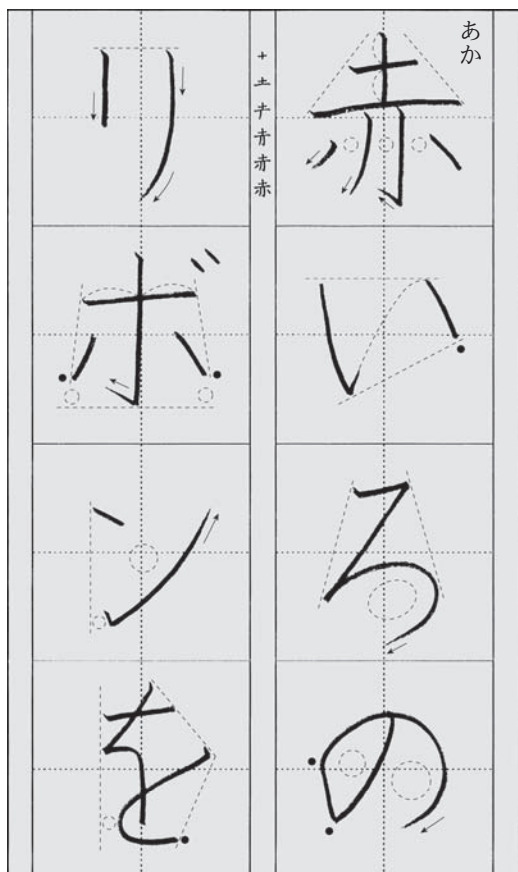
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



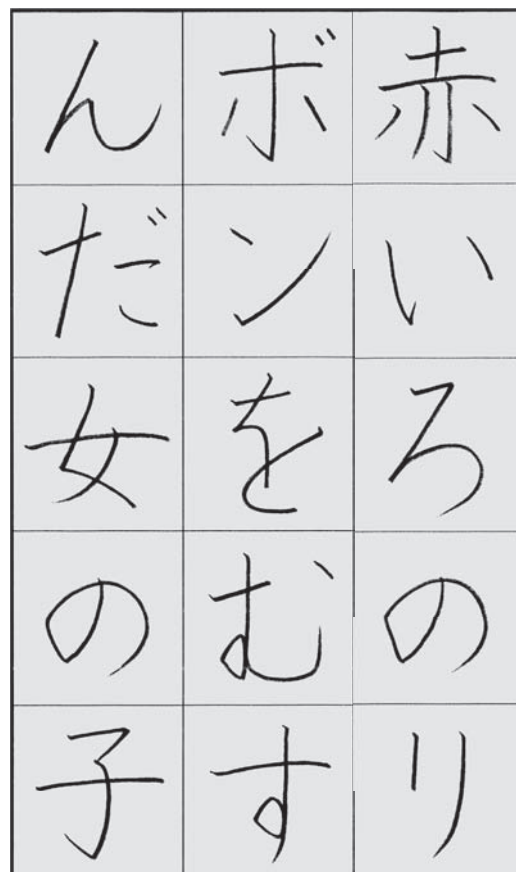
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

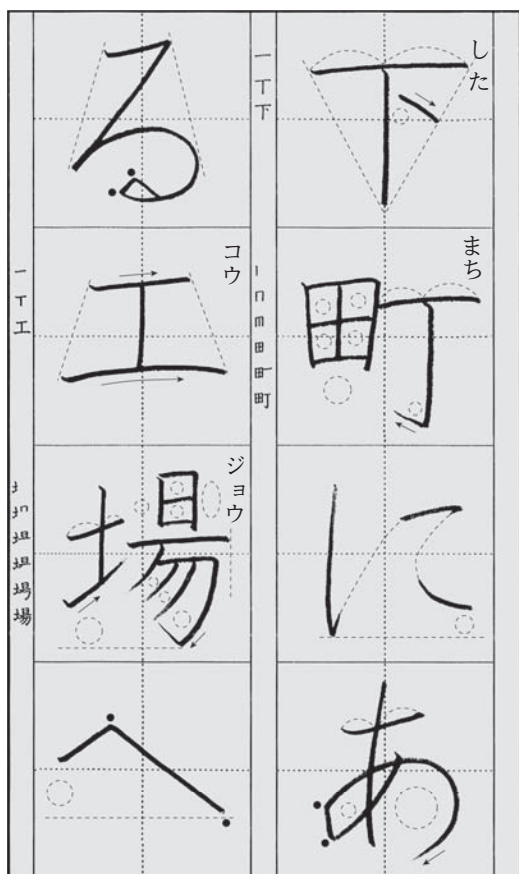
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



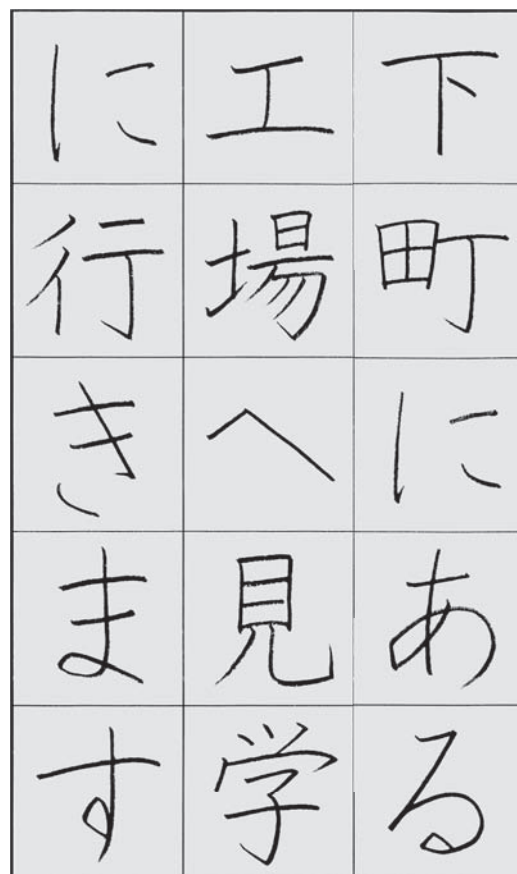
小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

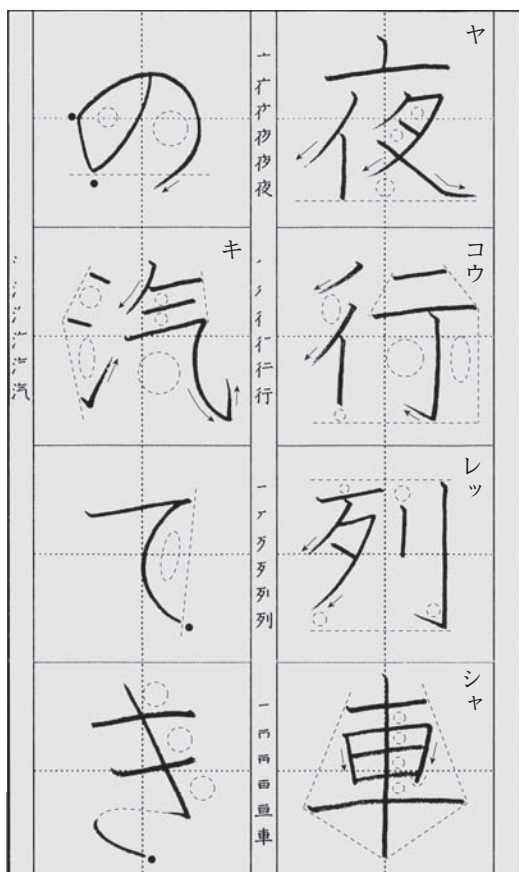


新入1級

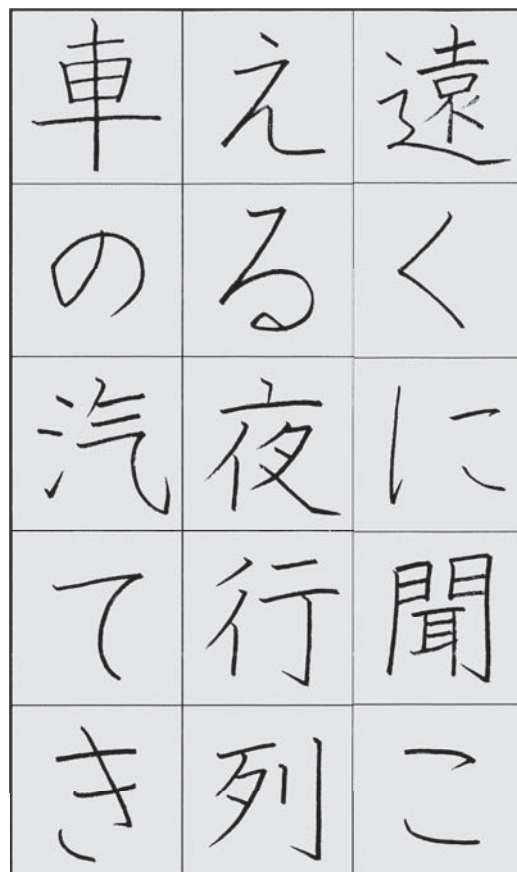


小二年

準初段以上



新入1級



小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

出	目
発	的
す	地
る	へ

新入〜1級

へ	調	バ
出	べ	ス
発	目	の
す	的	時
る	地	間

小四年

準初段以上

小四年以上
岡山
岡山
桂川
書

禁	工
止	事
道	通
路	行

解説(よく見て習いましょう)

な	通	工
つ	行	事
た	禁	に
道	止	つ
路	と	き

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

性	誤
高	差
砂	正
時	確

解説(よく見て習いましょう)

※砂時計(どけい) 単語としてこのように読みます。

高	く	誤
い	正	差
砂	確	が
時	性	少
計	の	な

小六年

(全員)

を	で	日
引	潜	々
き	在	の
出	能	鍛
す	力	練

中二・三年 (行書)

け	直	夏
水	射	は
を	日	帽
携	光	子
帯	さ	で

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

おお す か そう りゅう 書
大須賀 桑 龍

※七タ^{たなばた}単語としてこのように読みます。

七 ^{たなばた} タ	の	夜 ^{よる}			
ね	が	い	事 ^{こと}	を	
ひ	と	つ			
短 ^{たん}	ざ	く	に		
書 ^か	き	ま	す		



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 7月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

ふく おか しゅう せん 書
福 岡 舟 泉

栽 ^{さい}	観 ^{かん}	ベ	取 ^と	多 ^{おほ}
培 ^{ばい}	葉 ^{よう}	ラ	り	く
す	植 ^{しょく}	ン	入 ^い	の
る	物 ^{ぶつ}	ダ	れ	陽 ^{よう}
	を	で		光 ^{こう}
				を



◎お手本はつけペン使用

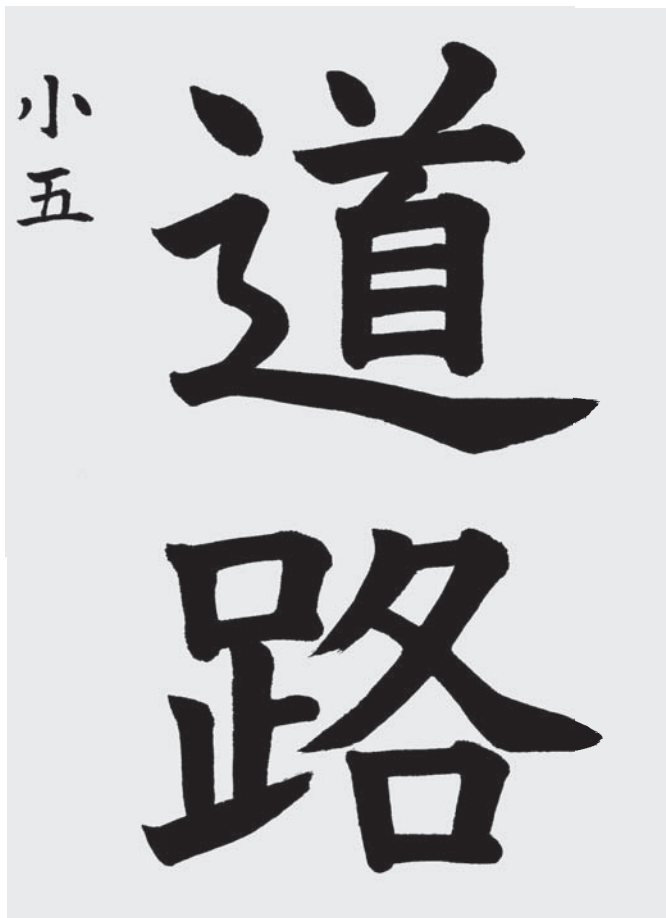
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
玉樹小
華書





小三・小五年

水野香竹書

中二
能 潜
力 在

性 正
小六
確

射 正
潜 確
在 直

中
日 直
光 射

※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。